



教育委員会だより さいたま

～ Well-being 実現のために ～

第41号

発行日: 令和6年12月24日(火)
発行: さいたま市教育委員会



教育長メッセージ

さいたま市教育委員会 教育長 竹居秀子

さいたま市 竹居秀子教育長インタビュー (2)

～ 「Well-being (幸せ) を保障する教育」の実現を目指して～

竹居秀子教育長へのインタビュー、第2回目は、教育長が教育委員会事務局で指導主事として教育行政に携わった時の取り組みについて、お話を聞きました。

ー英語教育で取り組んだこと

教育委員会に入ってから、小学生段階から英語を楽しんでほしいという願いを具現化すべく、今から約20年前の平成17年度に、国に特別な英語教育をさせてほしいと申請を出し、全国に先駆け、「小・中一貫の英語教育」を立ち上げ、英語教育に力を尽くしてまいりました。平成30年から国もようやく本市に追いついてきましたので、英語という名称を「グローバル・スタディ」に改名し、現在に至っております。(英語教育の調査において、本市も全国1位となっており、私もうれしい限りです。)

ー具体的な進め方について

当時、小学校で英語を行う自治体がさほど多くありませんでした。ある自治体は、中学校の教科書を小学生に配り、それを教えていました。またある自治体は、教科書は渡さないものの、中学校のように教師主導の授業をしており、また別の自治体では、フォニックス(※1)を中心に行っていました。本市は、コミュニケーションを主軸として、ゲームの要素を取り入れた活動や、英語を使う場面を重視したコミュニケーション活動を行っていたので、教職員も保護者や地域の方々も自分が習ってきた授業とは違うので興味津々でした。そこで、大人対象の出前授業を数多く実施してきましたが、大人の皆さんにとっても好評でした。大人も子どもも人と楽しくかかわりながら、人間関係をはぐくんでいく過程は同じであると、その時つくづく思いました。

ー校内留学というコンセプトについて

校内留学というコンセプトのもと、ALT(※2)に県から特別非常勤の資格をもらい、外国人講師として、自分が主担当となり2週間に1度オールイングリッシュで授業をしてもらいました。ALTも子どもたちも開始当初は戸惑いましたが、ALTは自己研修が進み、めきめきと指導力を向上させていったこと、子どもたちは、市の学習状況調査で、ヒアリングの力がめきめき上達していったことを思い出します。

※1: フォニックス…綴り字と発音との関係性を学び、読み方の学習を容易にさせる方法の一つ

※2: ALT…指導体制充実のための外国語指導助手

次回は、さいたま市の教育や皆様へのメッセージの予定です。

教育長フォトレポート

教育長が参加した行事の様様や

活動の様子などをお伝えします

※教育長フォトレポートは[こちら](#)から



武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の開校準備についてお知らせします

教育政策室 ☎：048-829-1627

1. 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校イメージ図

●本市初となる義務教育学校は、義務1年生から4年生が通う2つの校舎（浦和大里小学校・内谷中学校の既存校舎を活用）と、義務5年生から9年生が通う「沼影新設校舎」（右のイメージ図）をあわせ、3校舎で1つの義務教育学校とします。

●沼影新設校舎は、3つの教室棟と、体育館・武道場が入るアリーナ棟からなります。

現在の沼影小学校と比較すると、校庭は2倍程度、体育館は武道場も合わせると3倍程度の広さとなり、屋上テラスや屋上グラウンドも設置する予定です。

沼影新設校舎は、地域コミュニティや地域の防災の拠点、生涯の学びの拠点にもなりますので、校庭や体育館等の開放に加え、1階に学習や会議のできる地域開放スペースを設けたり、避難所となる2階体育館部分に防災倉庫等を設置したりするなどして、地域の皆様方にもご利用いただくことを踏まえた設計となっています。

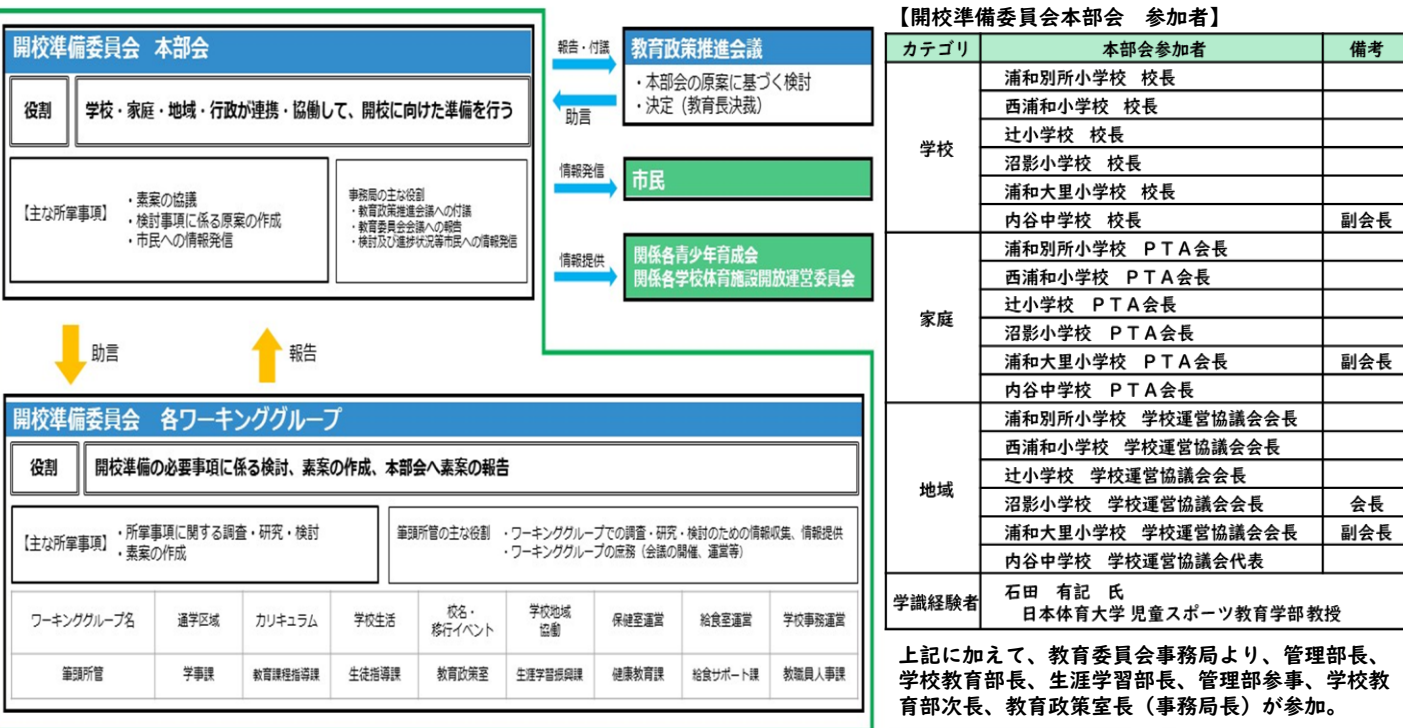


南西上空から「沼影新設校舎」の校地全体を見たイメージ図

2. 開校準備委員会の組織について

生涯の学びの拠点として活用できるこの魅力ある施設をどう活用していくのか、どのような教育活動を展開していくのか、ソフト面について検討する段階に入りました。そこで教育委員会では、本義務教育学校の令和10年度の開校に向けて、学校・家庭・地域・行政の立場から、より良い学校づくりのために率直な意見交換を行うことを目的として、開校準備委員会を設置しました。

開校準備委員会は、通学区域や、学校行事のあり方、学用品のあり方、学校生活のきまり、校名などについて、開校準備の必要事項に係る検討、素案の作成等を連携・協働して進めるための組織です。全体をとりまとめる「本部会」と、個別の具体的な事項を検討する8つの「ワーキンググループ」で構成されています。



※武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会についての詳しいお知らせは [こちら](#) から

※QRコードでの詳しいお知らせはこちらから



本部会（第1回）には、教育長・副教育長も参加しました。

市立中学校・中等教育学校の生徒と教育委員会とが直接意見交換し、教育施策にこどもたちの意見を反映するため、「Meet-Up@さいたまedu.」を実施しました。

当日のテーマは、「学校から未来を変える～私ならどうする～」とし、コロナ禍が加速化させたテクノロジーの活用もたらした変化や、甚大な自然災害など地球規模の課題が身近で起こる予測困難な時代において、これからの時代を生き抜くために必要な「学び」について意見交換をしました。



令和6年11月14日（木）実施レポート



当日は、生徒14名と、教育長、教育委員5名とが、活発な意見交換をする機会となりました。意見交換会において、子どもたちからは、集団生活で得られる「学び」やデータに基づいた教育政策の重要性、コミュニケーションにおいて自分の意見を伝える大切さ、学校の防災機能の強化や正しい情報伝達など様々な意見や考えがありました。

子どもたちの意見等は、今後の教育施策に活かしてまいります。



令和6年度 第2回さいたまSDGsアワードを開催します

教育課程指導課 ☎：048-829-1661

さいたま市立学校の児童生徒と職員のSDGsに関する優れた取組を表彰し、SDGsに対する関心と実践意欲の向上を図ります。

今年度のSDGsアワードは、大人もプレゼンを行い、子どもたちのロールモデルとなることで、子どもたちの更なる意欲の高まりを期待しています。



日時 令和7年1月14日(火) 13:30~16:30

会場 与野本町コミュニティセンター

発表者 1次審査で選ばれた学校、児童生徒、教諭等

【個人部門】(小:3人、中:3人、高:1人、教諭:1人)

【団体部門】(小:3校、中・高:3校)

内容 ・個人及び団体(学校・生涯学習関連施設)による優れた取組についてのプレゼンテーション

・最優秀賞等の発表・表彰 ・企業の取組の紹介

審査員 ・教育長

・芝浦工業大学 中口毅博 名誉教授

(予定) ・HOYA株式会社代表者 ・ウォータースタンド株式会社代表者 他

今年度は、大人も
プレゼンを行います!



令和6年度 「さいたまカップ」を開催します

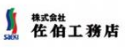
教育課程指導課 ☎：048-829-1661



「さいたまカップ」では、市立中学校7校339チームから選ばれた代表生徒たちが、キャリア教育の探究学習プログラム「さいたまエンジン」を通して考えたオリジナルのビジネス提案を発表します。

当日は、企業の社長、サッカー解説者など、様々な道のプロに審査をしていただきます。

R6 参画企業一覧



日時 令和6年12月25日(水) 10:00~15:00

会場 大宮国際中等教育学校

参加者 ・探究学習プログラム「さいたまエンジン」実施校7校の代表生徒29チーム(予定)
・「さいたまエンジン」参画企業15社

内容 生徒が地元企業の方と協働して考えたビジネス提案を発表し、グランプリと準グランプリを決定する